

ユーブロックス、タイムクリティカル RSDB サービスを分離した自動車向け Wi-Fi & Bluetooth モジュールを発表

u-blox JODY-W1モジュール、インフォテインメントおよびテレマティクスのアプリケーションに最適な新製品

2017 年 1 月 31 日、スイス、タルヴィル - スイスの u-blox AG (日本法人: ユーブロックスジャパン株式会社、東京港区、代表 仲 哲周) は、本日、Automotive グレードのホストベース・モジュール JODY-W1 を発表しました。この新しいモジュールは、2.4GHz と 5GHz 帯域の Wi-Fi に同時接続 (RSDB) して利用することで高速化を実現します。



JODY-W1 は、車内ホットスポット、Wi-Fi スクリーン (Apple Car Play など)、マルチクライアントのビデオストリーミングなど、高データレートと同時接続を必要とするインフォテインメント系およびテレマティクス系の車載アプリケーションに最適です。

RSDB により、高データレートを必要とするタイムクリティカルなサービスを、比較的タイムクリティカルでないサービスから分離することができます。インフォテインメント系のアプリケーションでは、Wi-Fi スクリーンを 5GHz 帯で独立動作させ、Wi-Fi ホットスポットを 2.4GHz 帯にすることで、時分割多重化方式でデュアルバンドをサポートするチップセットと比較すると、全体的な堅牢性と帯域ごとのデータレートを改善することができます。

「RSDB 対応により JODY-W1 は、アクセスポイントまたはステーションとして、あるいは P2P モードで、さまざまな周波数帯をパラレルに使用する場合にクラス最高のパフォーマンスを提供します。さらに、Bluetooth と Wi-Fi を同時利用できるので、同時接続のユースケースに最適です」と、ユーブロックス社近距離無線プロダクト・センター、プロダクト・ストラテジー部門の Kilian Frank は語っています。

JODY-W1 は 19.8 × 13.8mm の市場で最小のモジュールの 1 つです。LTE と Wi-Fi のアンテナを共存させる必要のあるアプリケーション向けに、オプションで統合 LTE フィルターの搭載も可能です。このモジュールは、最高レベルの自動車向け品質要件に準拠しています。AEC-Q100 準拠の BCM89359 チップを搭載し、製造は ISO/TS16949 準拠、PPAP、8D レポートおよびコンポーネントの完全なトレーサビリティをはじめとする自動車産業向けのサービス・レベルを提供します。

完全テスト済みエンジニアリング・サンプルの提供開始は 2017 年第 2 四半期を予定しています。

ユーブロックスについて

スイスのユーブロックス社 (SIX:UBXN) は、民生、産業および自動車市場向けにワイヤレスと測位用半導体を提供するグローバルリーダーです。ユーブロックスのソリューションにより、人、自動車や機械等がそれぞれの位置を正確に決定し、さらにセルラーおよび近距離ネットワークでワイヤレス通信を行うことができます。ユーブロックスはチップ、モジュール、ソフトウェアの各ソリューションを多種用意して独自の地位を占め、OEM メーカーの皆様が IoT の革新的なソリューションを迅速かつ廉価に開発するための

お手伝いをしています。ユーブロックスはスイスのタルヴィルに本社を置き、世界の各地、特に欧州、アジア、米国に多くのオフィスを構えています。詳細については www.u-blox.com/ja/をご覧ください。

最新情報は、[Facebook](#)、[Google+](#)、[LinkedIn](#)、Twitter [@ublox](#)、[YouTube](#) でもご覧いただけます。

<プレス・リリースのお問い合わせ先>

ユーブロックスジャパン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂 4-8-6 赤坂余湖ビル 6 階

カントリー・マネージャー

仲 哲周

電話 : 03-5775-3850

e-mail: tesshu.naka@u-blox.com